

2-5 東北地方の地殻変動

Crustal Movements in the Tohoku District

国土地理院
Geographical Survey Institute

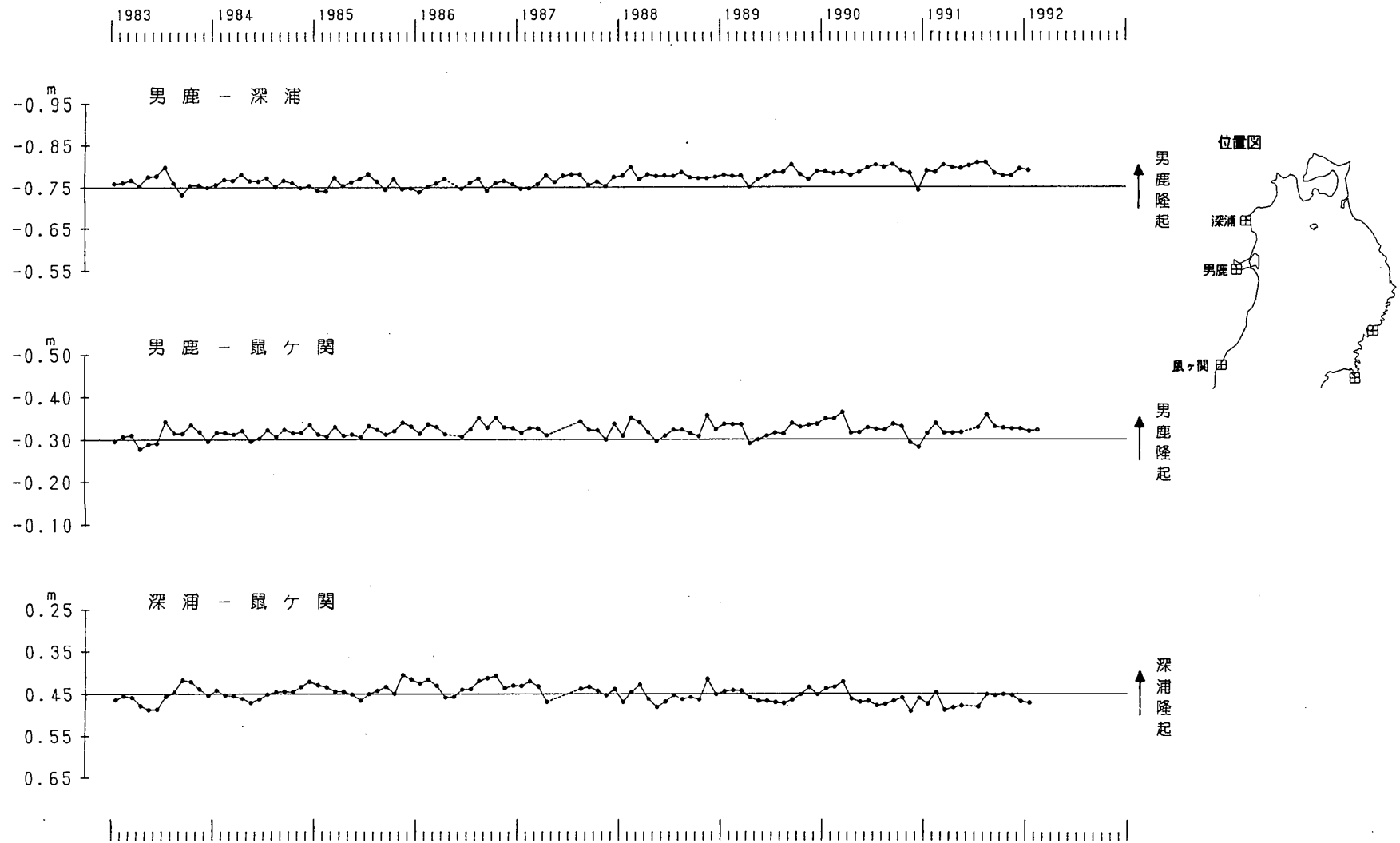
第1図～第3図は、東北地方の各験潮場間の月平均潮位差の結果である。

第1図は、男鹿、深浦及び鼠ヶ関の月平均潮位差で、10年間の変動ではやや男鹿が隆起の傾向が見られる。第2図は、鮎川、大船渡及び相馬の月平均潮位差で、ほとんど変化はない。第3図は、鮎川、相馬及び小名浜の月平均潮位差で、小名浜が隆起しているのは常磐炭田の閉山にともなう回復現象と思われる。

第4図は、秋田精密変歪測量の結果である。最近5年間の比較では、伸びがみられるが大きな変化はない。

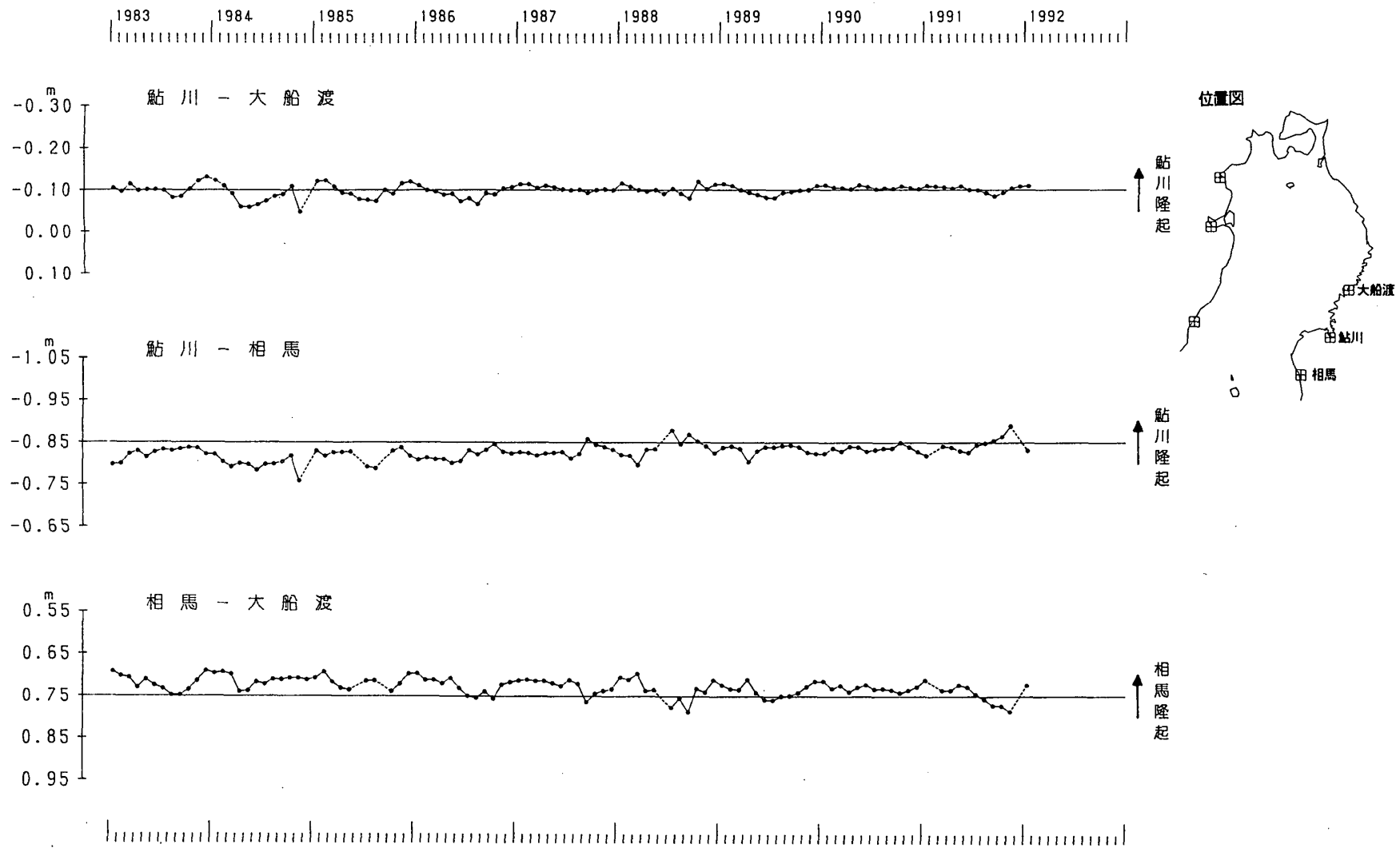
参 考 文 献

- 1) 国土地理院：東北地方北部の地殻変動，連絡会報，37（1987），46-55
- 2) 国土地理院：東北地方の地殻変動，連絡会報，38（1987），81-103
- 3) 国土地理院：東北地方の上下運動，連絡会報，39（1988），71-75



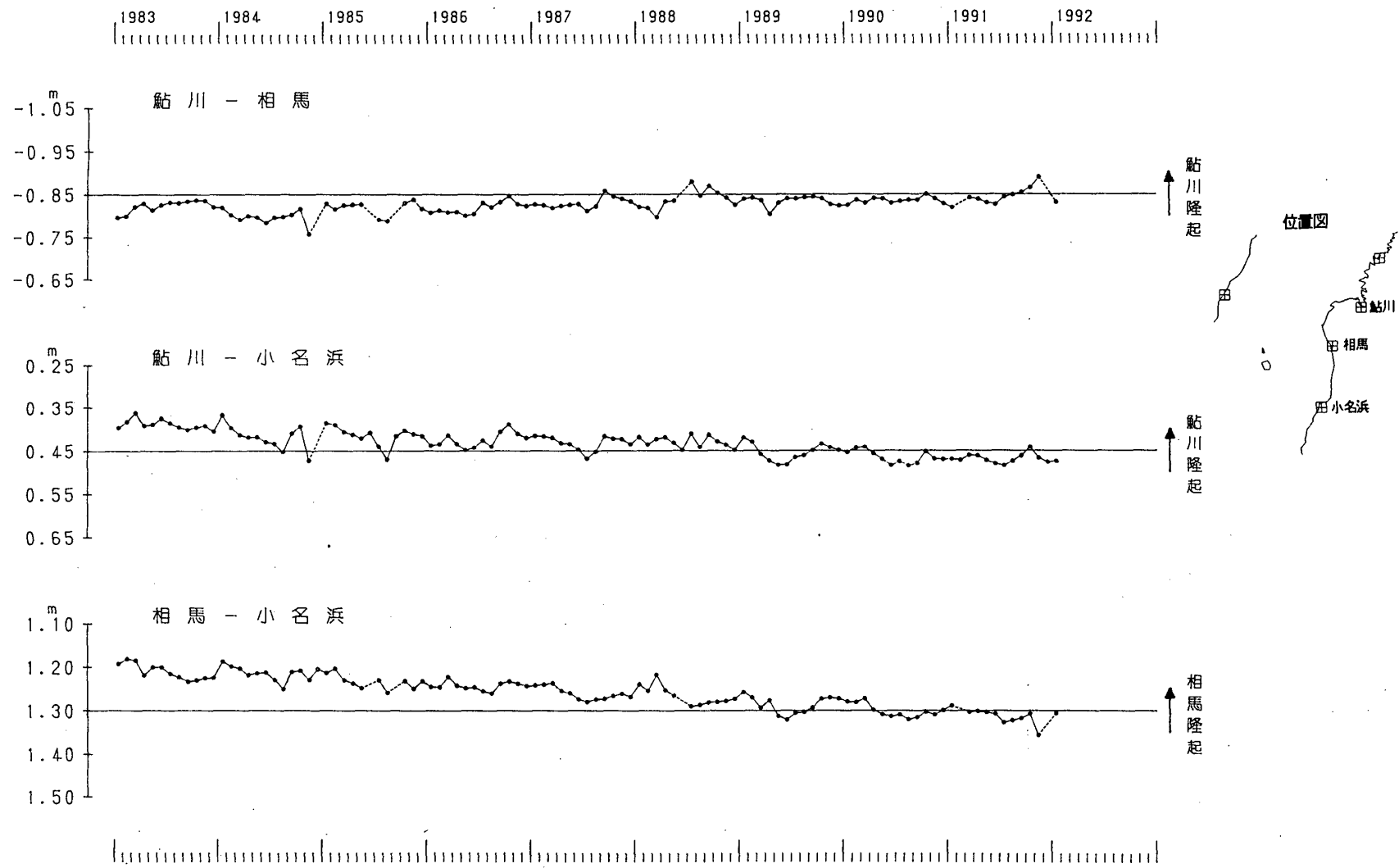
第1図 男鹿，深浦，鼠ヶ関各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 1 Differences in monthly mean sea levels between the Oga, the Fukaura and the Nezugaseki tide stations.



第2図 鮎川，大船渡，相馬各験潮場間の月平均潮位差

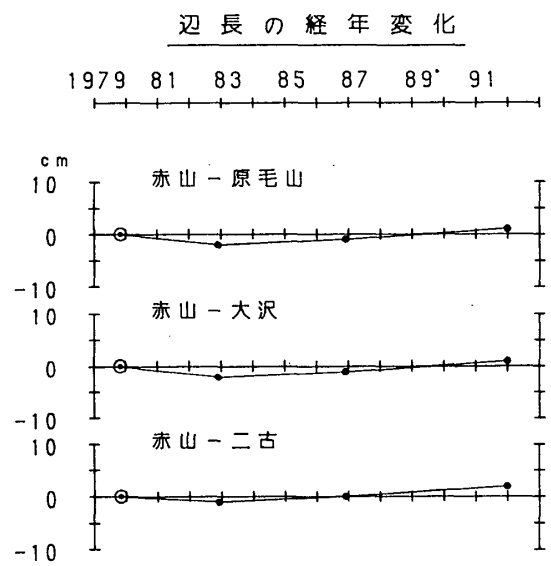
Fig. 2 Differences in monthly mean sea levels between the Ayukawa, the Ofunato and the Soma tide stations.



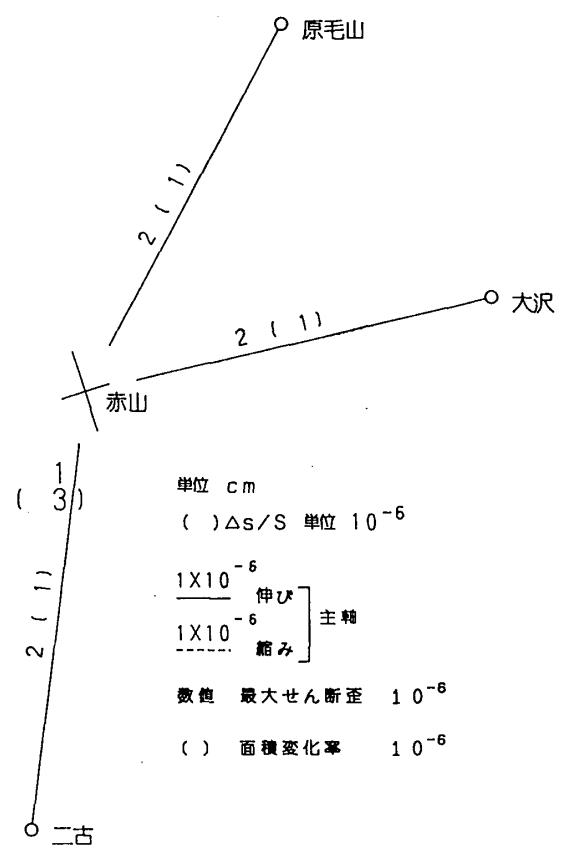
第3図 鮎川，相馬，小名浜各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 3 Differences in monthly mean sea levels between the Ayukawa, the Soma and the Onahama tide stations.

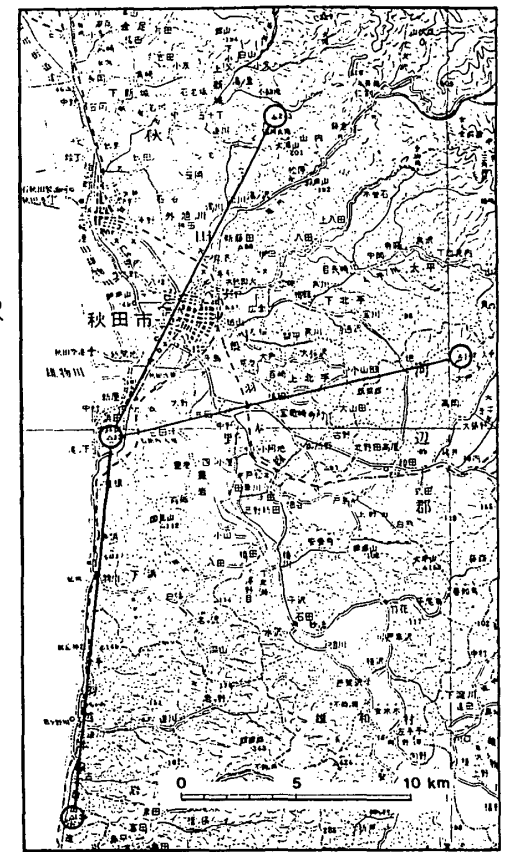
区 間	測定年月	1979	82	86	91
		9	10	10	11
赤 山 ~ 原 毛 山	15,798.06 ^m	.04	.05	.07	
赤 山 ~ 大 沢	15,736.79	.77	.78	.80	
赤 山 ~ 二 古	16,792.23	.22	.23	.25	



水 平 歪・辺 長 変 化
1991.11—1986.10



位 置 図



第 4 図 秋田精密変歪測量結果

Fig. 4 Results of precise distance measurements at the Akita radial baselines.